

UV 樹脂硬化度確認装置

Curea

UV 硬化樹脂を、ガラスやフィルムを介して測定



※デザインや仕様は予告なく変更する事がございます。

もう破壊検査は必要ない、これからは、非接触で。

非接触・非破壊で測定

サンプルに触れることなく測定ができるため、非破壊の検査が可能になりました。UV硬化樹脂によるフィルム接着など、サンプルがフィルムやガラスに挟まれている場合でも測定可能。

測定原理

内蔵する微弱なUV光を励起光とし、被検体から発する傾向を検出しています。紫外線硬化樹脂では多くの場合、硬化が進むにつれて蛍光が変化するため、硬化状態を測定することができます。

リアルタイムで測定

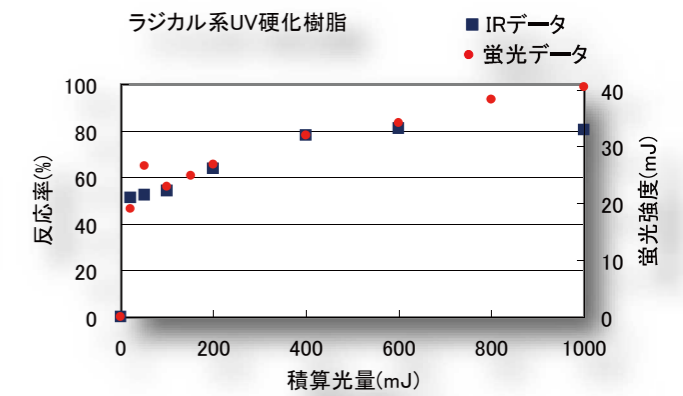
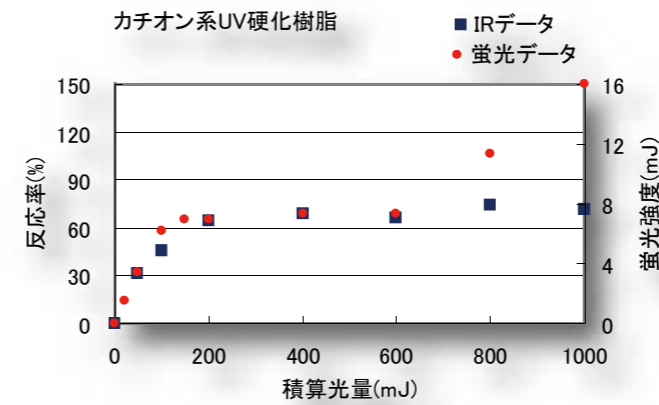
わずか0.1秒で測定でき、インライン検査に適しています。紫外線を照射しながら経時変化の測定も可能。

インライン検査への実績

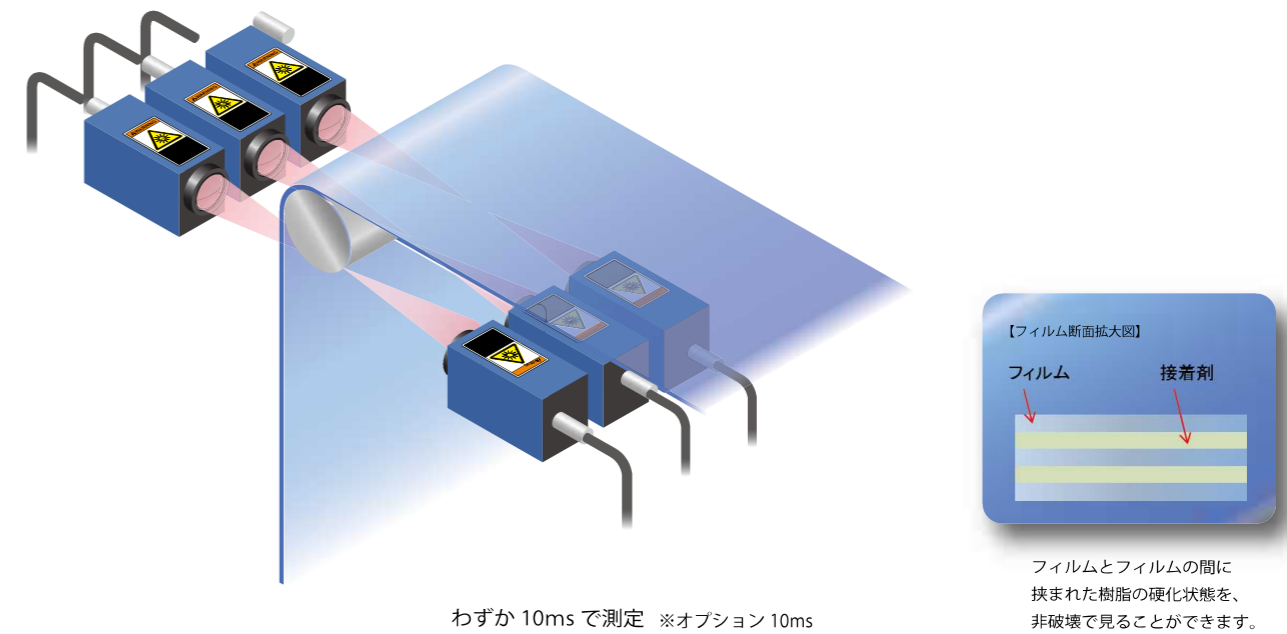
- 生産ラインにおけるフィルム貼り合わせ時の樹脂硬化度の確認
- UV 硬化樹脂の膜厚検査
- 電子デバイス部品の接着
- レンズの接着
- 注射器の針とシリンジ接着部の硬度確認



FT-IR との相関性



【フィルムの生産ラインでの導入例】



主な仕様

【制御部】

- 1) 電源 AC100 V±10 %
- 2) 表示 デジタル表示3桁 及び アラーム用LED 4点 (過入射光、投光量制御外ランプ)
- 3) 設定入力 感度設定 オフセット設定
- 4) アナログ出力 -5 ~ 5 V
- 5) 接点出力 COM(H/L共用) NC(L出力)NO(H出力) 各1点(接点出力)

【センサー部】

- 1) センサー寸法 (mm) W50×D75×H125
- 2) スポット径 φ2
- 3) センサー接続ケーブル 2m

【装置オプション】

- 小スポット対応 ●高速応答 (10ms) 他